

間組百年史

電子書籍

1889年に北九州・門司で創業した「間組」。
創業から100年の1989年に刊行された社史を電子書籍化！

難工事あるところにハザマあり

戦前戦後、内地外地を問わず重要工事に参入し、数多くの建造物工事を手掛けてきた「間組」。
創業から100年にわたる数多の工事の記録とその時代背景をまとめた社史を復刊することで、
近現代日本の発展を読み解く一級資料を広く提供するものです。

【本書を推薦します】

エンジニアに伝えたい工学アーカイブ

吉川 弘道 東京都市大学 名誉教授

本書、『間組百年史』は、間組（現、安藤ハザマ）による創業からの100年間の建設工事記録を、電子書籍化して復刻するものである。その記載内容は、明治維新後の日本の近代化、富国強兵に主導される産業発展期から、高度成長期の社会基盤や建築物を含むもので、きわめて興味深いものがある。

戦前戦中戦後の社会基盤の整備・発展のための建設工事には、明治神宮再建、大規模発電事業、青山再開発、高浜原子力発電所、などを含むもので、土木史や建築史の貴重な工学資料でもある。東名高速道路を含む道路事業、青函トンネルを含む鉄道事業への貢献も特筆されるものがあり、写真などの画像にて顧みることもしみじみとなる。あらためて、我が国の社会基盤の発展に貢献すべく、数多くの難工事に立ち向かった「土木の名門ハザマ」の記録は、現役エンジニアや次世代エンジニアに伝えたい工学アーカイブである。

本書『間組百年史』では、多くの記録が克明にビジュアルライズされ、膨大な情報量の検索も容易であるとのこと。土木ファン建築ファンのみならず、教育機関、研究機関、公官庁の方々にもご一読いただきたく、また図書館にも所蔵いただき、ティーンエイジャーに伝えたい記録でもある。

試読できます。
こちらから



安藤ハザマの
YouTube チャンネルは
こちらから



お奨めします

建築史・近現代史・土木工学・社会基盤工学・都市社会学・環境工学・経営史・交通史・鉄道史・社史・広報の研究者、大学図書館、公共図書館

監修：株式会社 安藤・間（呼称：安藤ハザマ） 発行・発売：株式会社かなえ
発売：2025年9月



電子書籍（税別） 全4巻セット	ISBN：978-4-86759-741-5	C3851	198,000円
第1巻 1889-1945	ISBN：978-4-86759-742-2	C3851	66,000円
第2巻 1945-1989	ISBN：978-4-86759-743-9	C3851	66,000円
第3巻 1889-1989【資料篇】	ISBN：978-4-86759-744-6	C3851	33,000円
第4巻 1945-1989【写真編】	ISBN：978-4-86759-745-3	C3851	33,000円

1アクセス～3アクセスは、同一価格
(オンデマンド印刷書籍ご希望の方は弊社までお問い合わせください)

株式会社かなえ

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-30-18-202
TEL 03-6912-7238 FAX 03-6912-7239
ホームページ：https://kanae-book.co.jp
Mail：info@kanae-book.co.jp

【専用試読サイト】
https://kanae-ebook-0303.actibookone.com

弊社電子書籍は以下のプラットフォーム
会社で販売しております。

- 丸善雄松堂様 (MeL)
- 紀伊國屋書店様 (KinoDen)
- EBSCO様 (eBooks)
- 図書館流通センター様 (LibrariE & TRC-DL)

取扱店

第3巻 『間組百年史1889-1989[資料篇]』

『間組百年史』本編の編纂時に収集した根拠資料の最も基本的な文献とデータの一部を取りまとめ[資料篇]として限定刊行したもの。

- 1. 歴代組長・社長挨拶、訓示、文書
 - 1. 間猛馬および創業期の文書
 - 2. 小谷社長 挨拶・訓示・文書
 - 3. 神部社長 挨拶・訓示・文書
 - 4. 飯田社長 挨拶・訓示・文書
 - 5. 竹内社長 挨拶・訓示・文書
 - 6. 本田社長 挨拶・訓示・文書
- 2. 制度・事業関連文書
 - 1. 大倉糸馬との取交文書
 - 2. 創業期の規定・規約
 - 3. 創業期のその他の文書
 - 4. 合資会社定款とその変遷
 - 5. 合資会社規則・規定
 - 6. 合資会社時代のその他の文書
 - 7. 株式会社定款・規則・施工体
 - 8. 労働協約
 - 9. 嘆願書・計画書・申請書
 - 10. 技術
 - 11. 戦時中の業界統制
- 3. 統計・一覧表・その他
 - 1. 従業員・役員関係
 - 2. 資本金・株式関係
 - 3. 財務諸表類
 - 4. 受注高・施工高・完成工事高の推移[株式会社間組]
 - 5. 業界ランクの推移
 - 6. 安全成績・表彰
 - 7. 受章・受賞・表彰一覧
 - 8. 登録特許・実用新案一覧表[1989年9月30日]
 - 9. 主要関連会社・海外現地法人
 - 10. 本店所在地の変遷
 - 11. 機構図
 - 12. 配下・協力会社系累図
- 4. 年表
 - 1. 創業前史[幕末～明治21年]
 - 2. 創業・個人経営時代[明治22年～大正6年]
 - 3. 合資会社時代[大正7年～昭和6年]
 - 4. 株式会社時代前期[昭和6年～昭和20年]
 - 5. 株式会社時代中期[昭和20年～昭和43年]
 - 6. 株式会社時代後期[昭和44年～昭和64年・平成元年]



第1巻 『間組百年史1889-1945』

創業時の時代背景から戦時下の繁忙、終戦と、幕末から昭和までにわたる企業のあゆみ。

- 発刊の辞序章 代表取締役社長 本田 茂
 - 1 創業前史と時代背景
 - 第1節 間一族の命運
 - 第2節 猛馬の修業時代
 - 第3節 間組創業への模索
- 第1章 間組の旗揚げと苦難
 - 第1節 九州の鉄道建設と間組創業
 - 第2節 事業の再開と初期人材の結集
 - 第3節 本州への進出と熊本本店時代
- 第2章 企業体制の形成
 - 第1節 事業の拡大と下関本店の開設
 - 第2節 企業体制の模索
 - 第3節 日露戦争後の環境変動と組長隠退
- 第3章 事業拡大と企業体制の整備
 - 第1節 朝鮮・満州の大型工事
 - 第2節 事業分野の拡大
 - 第3節 合資会社への移行
- 第4章 東京進出と一流企業化
 - 第1節 東京進出と創始期の試練
 - 第2節 全国への事業の拡大
 - 第3節 外地事業の激動と展開
 - 第4節 本店機構の整備と身分資格制度の確立
- 第5章 株式会社設立と戦時体制への移行
 - 第1節 株式会社間組の発足
 - 第2節 電化・高速化時代の鉄道工事
 - 第3節 電力工事の中断・再開と高堰堤化
 - 第4節 建築工事の多角化
 - 第5節 朝鮮支店の事業多角化
 - 第6節 満洲への第3次進出
 - 第7節 転換点に立った当社
- 第6章 戦時下の異常繁忙から終戦
 - 第1節 戦時下における経営の異常化
 - 第2節 長期化する日中戦時下の外地工事
 - 第3節 軍需景気と国内工事の新展開
 - 第4節 太平洋戦争下の外地国防工事
 - 第5節 戦力増強工事と終戦



第4巻 『間組百年史1945-1989[写真編]』

記述中心の第2巻に対し、施工事例を写真や図版を中心にまとめたもの。(各章の構成も第1巻から継続)

- 第7章 焼跡からの再起[昭和20年～25年]
 - 明治神宮御飯殿の造営
 - 進駐軍工事
 - 農業土木工事
 - 利根川堤防の復旧
 - 川崎市水道工事
 - 渋谷三菱銀行ビルの移転
 - 大阪スタジアム
 - 新潟・旭橋災害復旧工事
 - 永瀬ダム
 - 工事データ
- 第8章 ダム建設の王者[昭和26年～35年]
 - 丸山ダム
 - 勝俣ダム・須田貝発電所
 - 井川ダム・畑薙ダム
 - 佐久間ダム
 - 筑後川水害と伊勢湾台風復旧工事
 - 最新鋭の火力発電所
 - 公団住宅の当社受注工事
 - 黒部川第四発電所ダム
 - 御母衣ダム
 - 名古屋城の再建
 - 東宮御所
 - 福岡観光ビル
 - 東海道新幹線・新丹那トンネル
 - 名神高速道路
 - 工事データ
- 第9章 ナショナルイベントの時代[昭和36年～43年]
 - 東名高速道路
 - 中部電力・尾鷲火力発電所と東邦石油・尾鷲工場
 - 新宿ステーションビル・西口地下広場・各種ビル工事
 - 地下鉄日比谷線日比谷駅
 - 二重橋架替下部工事
 - NHK放送センター
 - 三菱長崎・日立堺マンモスドック
 - 岐阜県庁舎
 - 下久保ダム・早明浦ダム
 - 名古屋地下鉄テレビ塔工区
 - 日本大学関係工事
 - 川崎市水道第7期工事と首都圏水道施設
 - 立山・黒部アルペンルート
 - 六甲トンネルと岡山駅
 - サンヨーカラーテレビ工場・東北リコー計算機工場
 - 日本万国博覧会ビルその他
 - 東京駅地下乗降場
 - 南ベトナム・ダム第1発電所
 - 工事データ
- 第10章 章技術革新と都市化[昭和44年～50年]
 - 関門鉄道隧道・国道トンネル・新幹線トンネル・関門橋
 - 新豊根地下発電所
 - 新東京国際空港管理棟
 - 中央自動車道・恵那山トンネル
 - 東京・大阪の高層ビル
 - 東京・仙台の下水処理場工事
 - 横浜港南台45団地など
 - 都営地下鉄新宿線工事
 - 酒田共同火力発電所
 - 工事データ
- 第11章 環境の見直しと再出発[昭和50年～56年]
 - 青山ツインビル・伊藤忠東京本社ビルなど
 - 金程・向原土地区画整理事業
 - 美術館・博物館・文化ホール
 - 大町ダム・七北田ダム
 - 高浜原子力発電所
 - 東北・上越新幹線工事
 - 国立劇場能楽堂
 - 東南アジアでのダム建設
 - 工事データ
- 第12章 ハイテクで未来をめざす[昭和56年～平成1年3月]
 - 青函トンネル
 - 多様なハザマの建築作品
 - 関越自動車道・関越トンネル
 - 南備讃瀬戸大橋
 - 袖ヶ浦・串野野備蓄設備
 - クリーンルーム
 - 新菱本水力発電所
 - 高輪変電所・高野山東京別院
 - ホンダ青山ビル
 - 営団地下鉄7号線飛鳥山B線工区
 - 枚方・近江八幡・千葉の市街地再開発
 - 関西国際空港連絡橋と明石海峡大橋
 - 海外工事の拡大
 - ハザマの近未来構想
 - 工事データ

第2巻 『間組百年史1945-1989』

戦争による荒廃からの再建を経て、21世紀を目指した総合建設業の姿をあらわした企業の記録。

- 第7章 焦土からの再建
 - 第1節 戦後の混乱と経営再建への模索
 - 第2節 進駐軍工事の獲得
 - 第3節 経済復興工事の展開
 - 第4節 災害復旧工事
- 第8章 ダム建設の王者
 - 第1節 経営規模の拡大と体制の充実
 - 第2節 大ダム建設時代の到来と王者間組
 - 第3節 エネルギー転換と産業基盤の整備
 - 第4節 交通網の整備・拡充と高速化
 - 第5節 都市施設の復興整備からの本格的拡充
 - 第6節 災害復旧と治水・利水工事
- 第9章 高度成長下の飛躍と転換
 - 第1節 構造変化と神部体制の終焉
 - 第2節 臨海工業地帯の開発と工場建設
 - 第3節 国土のインフラストラクチャー
 - 第4節 首都圏整備の展開と東京オリンピック
 - 第5節 全国主要都市の基盤整備
 - 第6節 ダムを中心とする水資源利用
 - 第7節 東南アジアのダム建設に進出
- 第10章 経営革新と多角化への模索
 - 第1節 飯田社長時代の経営改革
 - 第2節 都市型ゼネコンへの志向
 - 第3節 高速道路ネットワークの形成
 - 第4節 産業基盤と生活基盤の整備
 - 第5節 政情不安の東南アジアで地盤強化
- 第11章 低成長下での再出発
 - 第1節 経営再建と体質改善の努力
 - 第2節 エネルギー関連施設の新展開
 - 第3節 文化の時代、地方の時代
 - 第4節 社会資本の充実
 - 第5節 東南アジアからの中東、中南米へ
- 第12章 21世紀をめざして
 - 第1節 EC化・国際化への展
 - 第2節 高度化する建築空間への取組み
 - 第3節 都市の整備と高度利用
 - 第4節 列島を貫くビッグプロジェクト
 - 第5節 安定成長期のエネルギー施設
 - 第6節 グローバルな国際企業めざして

